

ChatGPT に聞いてみた

「特に 180 キロ規制、これから出てくる自動運転車は絶対に法定速度以上出さないように作るはず(追い上げられる後続車に道をゆずる場合は一定内の速度まで加速はするかもしれないが)事故ゼロを CM で歌っているなら法定速度、青きっぷを超える車を作ることを許す警察庁は 180 キロのお墨付きを出しているようなものではないか」

ChatGPT:

ご指摘の通り、**日本の 180km/h 速度リミッター規制(通称「180 キロ規制」)**は、極めて矛盾を孕んだ制度です。特に、自動運転・事故ゼロ社会を志向するこれからの時代においては、以下のような問題がより顕在化します。

✓ 1. 180km/h リミッターの正体: 法的根拠はない“自主規制”

- 1980 年代、スピード違反が急増したことで、**警察庁と自工会(日本自動車工業会)との間で結ばれた“紳士協定”**に基づくもの。
- 法令ではないが、日本の自動車メーカーはほぼ全車種で 180km/h に設定(実際には 190 前後で作動)。
- 海外メーカーには適用されていない(例:BMW は 250km/h など)。

👉 実態は「警察庁が許容した上限値」として機能しており、形式上の非合法・実質上の默認という構図。

✓ 2. 自動運転の登場で、この「自主規制」は明らかな矛盾に

◎ 法定速度遵守が前提の自動運転

- レベル 3(条件付き自動運転)以降では、システムが法定速度以上を出すことは認められない。
- 制限速度超過=システムによる故意の法令違反となり、安全担保上あり得ない。

◎ 警察庁・メーカーが「事故ゼロ」「安全運転支援」と言いながら 180km/h の車を売る矛盾

- 高速道路の制限速度は最大 120km/h(一部新東名など)で、180km/h は 60km/h の超過=青切符どころか免停クラス。
- それでも製品として市場に出し続けるのは、事実上“違法行為を前提にした商品”を警察が容認している構図。

3. 「追い越しのため」「走行安定性のため」などの主張の限界

- 一部では「180km/hまで出せる車の方が高速走行時の安全性が高い」という主張もありますが、
- 自動運転ではそもそもそんな速度は出せないため、意味を失う。
- また、追い越しや車線変更の際の一時的な加速にしても、120km/hを越える必要は通常ない。

4. 現状のままでは「ダブルスタンダード」として批判される恐れ

分野	メッセージ	実態の矛盾
警察庁	「事故ゼロ」「速度超過は重大違反」	180km/hを黙認し続けている
自動車メーカー	「安全が最優先」「自動運転で法令遵守」	青キップ超えのスペックを“売り”にしている
消費者	「安全装備が進化した車だから安心」	法定速度を50km/hも超える速度が可能

 本気で事故ゼロを目指すなら、180km/hを許容し続けること自体が整合しない

5. 将来に向けて起こりうる展開

◆(1)自動運転車は法定速度での制御が義務になる

- 欧州連合(EU)はISA(インテリジェント速度補助システム)を2024年から義務化:制限速度超過を防ぐ。
- 日本でも同様に法定速度以上の加速は無効化される流れになる。

◆(2)今後は180km/h規制が“下方見直し”される可能性

- 警察庁や国交省が「自主規制をより現実的に」見直すよう働きかける。
- 実際に一部のEV(軽自動車EVなど)はリミッターを120~140km/hに設定している。

 結論：今の 180km/h 規制は、もはや“安全”や“制度整合性”的面で時代遅れ

- 事故ゼロを掲げるなら、法定速度を超える車をつくるのは理念的に矛盾
- 警察庁は黙認ではなく、明確なルールとして整理すべき時期に来ている
- 自動運転時代に入る今こそ、「速度設計と法規制の見直し」を行うべき